



編集・発行 号外
愛知県公立高等学校 P T A 連 合 会
 事務局 名古屋市中区新栄一丁目49番地10号
 愛知県教育会館 6 階
 TEL<052>261-5886
 URL <http://aichikoupren.org>
 E-mail info@aichikoupren.org
 印刷 手島印刷株式会社
 TEL<052>522-1635



子供たちのために

愛知県公立高等学校 P T A 連 合 会 副 会 長

宮 原 康 実

本年度、当連合会の副会長として活動させていただいております。

自校の P T A 役員としての活動はもとより、連合会全体としての活動の中で、保護者や先生の子供たちに対する思いと労力は大変なものであることを改めて実感する反面、行政のあり方に「なぜこくなるのか」、「こうしたら良いのではないか」などと勝手な思いをめぐらしておりました。しかし、色々な場面で行政の方々と交流する中で、行政の現状や考えておられることを見聞きさせて頂く機会を通じて、我々と変わらない情熱を持って子供たちのために努力されていることを知るにあたり自分自身の浅薄さを痛感させられております。

最近のニュースで、保護者と学

校との法廷闘争の話を目にし、内容の真実はわかりませんが少なくとも二つの問題点があると感じています。一つ目は子供たちが一番

つらい思いを強いられる事実、二つ目はコミュニケーション不足、両者ともに子供たちのことを考えていることには間違いはないかと思えます。小中学校とは異なり子供たちの学校生活の状況もなかなかわかりづらくなっていくと思えますが、今一度、子供たちのために我々保護者の立場で先生、学校、行政に対してどのような情報を発信すべきかをお考え頂き、P T A 全体の総意として考えさせていただく機会が得られればと思う次第です。

保護者の皆さまへ

愛知県教育委員会委員長 加古 博



このたびは、お子さまの高等学校への御進学、誠に心からお祝い申し上げます。心からお祝い申し上げます。心からお喜びもひとしおのことと存じます。また、お子さまは入学式を目前に控え、これから始まる高校生活への期待と希望に満ちあふれ、充実した日々を送っておられることと推察しております。

高校時代は、大人としての自立に向けた最後の準備期間です。自分の将来を見据えるとともに、学習や部活動に一生懸命に取り組んで、自分自身を鍛え、高める機会でもあります。

同時に精神的に不安定にもなり、多くの悩みを抱え、葛藤する時期でもあります。子どもたちも保護者の皆さまも、時に迷い戸惑うこともあるかと存じます。しかし、大人が考えている以上に、子どもたちは周囲をよく見て、よく考えています。そして、考えながら、子どもたちは日々成長し、昨日より今日、そして、明日はもっとと人間的に大きくなっていき

ます。

また、子どもたちは常に親の背中を見ています。皆さまにおかれましては、まず、親こそが、お子さまにとつての生涯に渡る教育者であることを御理解いただき、親として、人生の先輩として、身をもって子どもたちに進むべき指針をお示しいただきたいと思えます。そして、お子さまの成長を優しく、時には厳しく見守り、支えていただくことを、切にお願い申し上げます。そのためには、何事においても、まず、お子さまを信じて、信じているというメッセージを届けることが肝要であると存じます。

今後とも、P T A の一員として各学校における教育活動への格別の御理解と御支援をお願いいたしますとともに、県公立高等学校 P T A 連合会や各学校の P T A が実施する保護者の在り方を学ぶ研修会などの機会を積極的に御活用いただき、学校・家庭・地域社会が連携・協力した学校づくりや地域の教育力向上に一層のお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、お子さま方がこれからの高校生活において、心身ともに健やかに成長されますこと、高校時代を子とともに過ごされることを通じて、親子の絆を一層深められることを、心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

地区研修会 実施概況

平成 22 年度に実施された県内各地区の活動状況は下記の表のとおりです。
 毎年各地区においては、多くの会員の参加を得て、講演会、研究発表、シンポジウム等の内容で地区内の会員の親睦を図り、各単位 P T A の活動状況を見直し、会員相互の意思疎通の場として、盛大に開催されております。

地区名	実施年月日	実施内容	実施場所
名 瀬 (名北)	H 23 . 1 . 28	地区研修会 講演「気づきについて」 三友工業(株) 顧問 林 泰治	ルプラ王山
(名南)	H 23 . 1 . 26	地区研修会 実践活動発表 昭和高校、名南工業高校 講演「高校生の食を考える」 愛知みずほ大学 短期大学部准教授 上原正子	天白小劇場
(尾東)	H 23 . 1 . 19	地区研修会 講演「感謝のプラス志向」 落語協会 三遊亭歌之助 PTA活動紹介 日進高校、春日井工業高校	尾張旭市文化会館
西 三	H 22 . 6 . 16 H 22 . 10 . 27	地区連絡協議会 連絡協議、事例発表 地区研修会 講演「日本の心・抑制の美」 イスボーツ現場を 見つめて半世紀」 日本福祉大学客員教授 杉山邦博	刈谷市総合文化センター 豊田産業文化センター
東 三	H 22 . 5 . 14 H 22 . 11 . 30	総会・講演会 講演「現代の高校生に どう接するか」 臨床心理士 森田英嗣 研究会 講演「厚生観と志事観」 (株) ティア代表取締役 富安徳久	ウエステージ豊橋 ライフポート とよはし
尾 張	H 22 . 5 . 14	地区総会 講演「企業が求める人間像」 (株) 樹研工業代表取締役 松浦元男	稲沢市民会館
知 多	H 22 . 11 . 4	地区研修会 講演「子どもの自立と 心理相談室」 親のポジショニング カウンセラー 前田由紀子	知多市 勤労文化会館

学校紹介

愛知県立明和高等学校 P T A

本校は、旧尾張藩明倫堂の伝統を受け継いだ明倫中学校と愛知県第一高等女学校を前身とし、昭和二三年に男女共学の愛知県立明和高等学校として設立されました。本校が目指すものは将来社会に有為な形成者を育成することであり、現在各学年、普通科八学級、音楽科一学級の生徒が、それぞれの進路希望を実現すべく勉学に励んでいます。

同時に、学校祭をはじめとする学校行事や部活動も大変活発に行っています。今年度も、運動部では、ラグビー部の生徒二名が、千葉県で行われた国体に愛知県代表として出場しました。文化部でも美術部・文芸部・将棋部・放送部が、宮崎県で開催された全国高校総合文化祭に参加し、また放送部は、東京で実施された全国高校放送コンテストにも、やはり県代表として出場しています。このほかにも多くの運動部・文化部が東海大会や県大会で活躍しています。



小林誠先生ノーベル賞記念碑

卒業生の活躍もめざましいものがあり、多くの方々が社会の第一線で活躍しています。特に、小林誠先生のノーベル物理学賞受賞はまだ記憶に新しいところであり、その偉業を讃えるために玄関前に建てられた記念碑は、生徒に大きな刺激を与えてくれています。

PTA活動も大変充実しており、進路指導、広報、生活指導、成人教育、音楽科の各委員会があります。本校の教育理念や教育活動を保護者の皆さんに直接理解していただく学年懇談会や進路研究会、成人教育研修会や成人研修旅行、学校・PTAの活動を保護者の皆さんにお伝えする広報誌の作成など、年間を通じて様々な活動がPTAの皆さんにより主体的に運営されています。そして、生徒の心身の健全な成長、進路等の自己実現にふさわしい学習環境の整備など、PTA役員の皆さんの意欲的な活動により成果を上げています。



PTA 研修会風景

また、音楽科の活躍も顕著で、今年度も、全日本学生音楽コンクール全国大会に出場

はじめて高校生をおもちになる 保護者の皆さまに

愛知県教育委員会高等学校教育課

お子さまの高等学校合格、おめでとうございます。

高校生になるお子さまは、新しい環境に期待と不安を抱いていることと思います。高校生の年代は、自我の意識が高まる一方で、自分の考えに確固たる自信をもつことができず精神的には不安定な時期です。

お子さまが新しい環境に適応し、充実した学校生活を送ることができるよう、保護者の皆さまと連携してまいります。

本県の高等学校教育について

平成二十一年三月に高等学校の学習指導要領が公示され、平成二十二年度から一部先行実施をしています。今回の改訂では、「生きる力」を育むという現行の理念を継承し、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視するとともに、道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成することをねらいとしています。各高等学校では、こうしたねらいを踏まえ、特色ある教育課程を編成しています。

また、学校は社会性を養う場

でもあります。さまざまな教育活動を通じてお子さまが好ましい人間関係をつくり、自ら将来の生き方を考え、目標をもって学業に励むことができるよう努めています。

自律的学習態度について

高等学校においては、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、自ら学び、考える意欲と力を身に付けることも求められています。そのためには、家庭学習を習慣化し、自ら探究する自律的な学習態度を身に付けていくことが大切です。

学校・家庭・地域の連携を

県教育委員会では、家庭・地域の協働による教育を積極的に推進しており、平成二十二年度は、県内12地区で教職員や保護者の皆さまの参加のもと、情報モラル教育の指導力の向上を目指して「ワークショップ（体験型情報モラル講習）」を開催しました。携帯電話等のインターネットを介したトラブルが深刻化するなか、学校・家庭・地域が協力した対応が求められています。保護者の皆さまにも、お子さまの健やかな成長のために、御理解と御協力をお願いいたします。

これからの高校生活において、お子さまが学習や部活動に積極的に取り組むなかで、自律の精神を養うとともに、個性や社会性を伸ばし、心身ともに健全な青年として成長されることを願っています。

心身ともに健康な若者の育成を目指して

愛知県教育委員会健康学習課

お子さまの高等学校への合格を、心からお祝い申し上げます。

さて、近年の都市化、少子高齢化、情報化、国際化などによる社会環境や生活環境の急激な変化は、子どもたちの心身の健康にも大きな影響を与えています。

例えば、生活習慣の乱れやメンタルヘルスに関する課題、アレルギー疾患や性の問題行動、飲酒・喫煙・薬物乱用や感染症などの健康課題が顕在化し、ますます複雑かつ多様化の様相を呈しています。

高校生の時期は、これまで慣れ親しんだ中学校生活と比べ、交友範囲や生活範囲が拡大していきま

す。こうした行動様式の変化の中で、周りの人との人間関係づくり

の過程で、様々なことに興味や関心を持つようになり、場合によつては、自身の健康に悪影響を及ぼすことすら、気持ちに向いてしまうこともあります。

これらの行動は、迷い悩める子どもたちが発する「心の悲鳴」と捉えることができます。「心とかからだの健康問題」に対しては、何よりも予見と適切な初期対応が重要であり、その在り方によって解決への道が大きく左右されることになりま

す。家庭や学校では、このシグナルをできるだけ早く感知する

ため、日ごろからの目配りを大切にするとともに、これまで以上に相互に関わり合いながら子どもたちを見守っていく必要があります。

県教育委員会では、子どもたちの心身の健康課題に教員が適切に対応できる能力を養うため、専門

家による研修等を実施し、健康教育に対する意識啓発と資質の向上に努めています。また、学校、家庭、地域の医療機関及びその他の関連機関との連携がさらに推進されるよう働きかけています。

PTAは、学校と家庭との連携

を図る上での重要な組織であります。健康課題に関する子どもたちへの支援をより一層充実させるために、今後とも、保護者の皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

事務局だより

皆様を新会員としてお迎えすることを心よりお喜び申し上げます。この4月から皆様には、ここに紹介するPTA組織にご加入いただくこととなります。以下、その概要を説明いたします。

愛知県公立高等学校PTA連合会

愛知県立学校(豊橋・豊田・瀬戸市立学校を含む)176校の単位PTAによる連合組織であり、昭和26年に発足し、現在の会員数は約12万人余。略称は「愛知県高P連」です。

◇「目的と事業」

各学校の単位PTAと会員相互の連携と協調を図り、教育の振興充実に寄与することを目的としています。次の事業を実施しています。

- (1) PTA活動の研究・調査及び連絡調整
- (2) 会員の研修
- (3) 教育環境の整備促進
- (4) 児童生徒の安全・健康と福祉の増進
- (5) 広報誌「高P連だより」の発行
- (6) 地区研修会の実施

◇「会費」

会費(1人年額、円)

高等学校	支援 特別学校		年 会 費
	幼・小・中学部	高等部・専攻科	
全 日 制	定 時 ・ 通 信	専 攻 科	150
150	100	150	100
			50

平成23年度の主要行事予定

- ・愛知県高P連 総会
- ・PTA指導者研修会

(県教委と共催)

5月20日(金)……名古屋駅前

会場 愛知県産業労働センター

- ・東海地区高P連大会(岐阜大会)

6月16日(木)……岐阜市

会場 長良川国際会議場

- ・全国高P連第61回大会(北海道大会)

8月25日(木)・26日(金)……札幌市

会場 北海道立総合体育センター

- ・地区別研修会

10月から2月の間に、県内5地区

(名瀬・西三・東三・尾張・知多)

毎に開催予定をしています。

愛知県高P連見舞金支給制度

児童生徒の学校管理下における傷病等への見舞金及びPTA活動時における保護者への見舞金も含めた制度の一部を紹介します。

- ・保護者に対しての見舞金

(PTA活動時における災害)

○死亡見舞金 300万円

○治療見舞金 10万円

入院8日～30日 10万円

入院31日以上 20万円

- ・児童生徒に対しての見舞金

(学校管理下における災害)

○死亡見舞金 500万円

○香料(管理下外も支給) 5万円

○障害見舞金 5万円

独立行政法人日本スポーツ振興

センター障害見舞金の20%

○治療見舞金

独立行政法人日本スポーツ振興

センターからの医療費給付額が

月額3万円以上のものについて、その20%の金額(千円未満切捨て)を支給。

ただし、死亡・障害・治療見舞金において登下校中の場合は、1/2支給。

なお、愛知県高P連からの支給は、愛知県高P連並びに日本スポーツ振興センターへの加入が条件です。学校の管理下の災害が支給対象ですが、故意の場合、第三者加害の場合など対象にならないこともあります。詳細は各学校にお問い合わせください。

全国高P連賠償責任補償制度について

児童生徒が予期せずして交通事故などで加害者となり、賠償責任を有する事故が活動範囲の広がりとともに残念ながら多発しています。

高校生ひとりひとりを賠償事故から守り、児童生徒の健全育成を支援するために、全国高P連が平成14年より、日本国内における生活全般に起因する賠償責任を24時間補償するとともにPTA活動遂行に起因する賠償責任を補償する制度(年間1人当りの負担金は300円)を発足させました。

平成22年度の加入生徒数は全国で109万人余となり、全高P連加盟の学校の2・2校に1校が加入しております。

学校(PTA)単位での団体加入の制度となっています。加入手続き等の案内については、各PTAへご案内しております。

全国高P連大会全国大会について

平成23年度は、北海道札幌市内での開催が決定されています。4月中

旬に案内が各学校に配布されます。ここでは概略を紹介します。

期日 平成23年8月25日～26日

25日(木)開会式、基調講演、分科会(7分科会)

26日(金)記念講演

会場 北海道立総合体育センター他

札幌市内の地下鉄沿線施設

愛知県高P連
高校生総合保障制度について

かつては、4社の「子ども総合保険」「自転車保険」に団体保険扱いをし、便宜を図って参りましたが昨年度より共同保険として窓口を一本化することになりました。任意保険ではありませんが案内を3月に各学校にてしております。

愛知県高P連事務局へのご相談、ご質問はお気軽にしてください。

愛知県高P連ホームページもご覧下さい。
(アドレス)

<http://www.aichikoupren.org/>

平成22年度にリニューアルしました。

編集後記

お子様の合格を心からお祝い申し上げます。新たに会員となられる保護者の皆さまへの特集号として企画しました。

御多用の中、御寄稿下さいました皆様方に厚くお礼申し上げます。

県高P連広報委員長 榎本 実